



世界の動き身近な話題

中日新聞



おさんぽ こみちの 気になるお店に 行ってきました!



オーナーの石田さん。木とホワイトを基調とした店舗はわずか3畳という愛らしさ。取材中、訪れたお客様が「石田さんと他愛ない会話をして笑顔で帰っていく、そんな様子が印象的だった」

「マルミの
バタートップ」
(900円)

仕上げにパンの上部に切り込みを入れ、バターを載せて焼き上げたパン。スライスし、軽いトーストして食べるとバターの香りと小麦の味が口いっぱいに広がる。食事にも、おやつにも。



地が自慢のパンは「素材の味がいきるように」と、国産小麦やバター、イースト、越前海岸の塩など、石田さんが選び抜いた少ない素材でシンプルに作る。生食パンやおかず系のパンのほか、季節のフルーツを使った期間限定のパンなど、10種類ほどが店頭に並ぶ。石田さんは言葉を選びながら「地域の人に愛されるパン屋さんになりたい。まずは来てくれた人に『もう1度行きたい』と思ってもらえるお店になれたら」と笑顔で話した。

安心でおいしい 勝山に誕生した小さなパン屋さん

これまでイベント出店のみで営業していた「マルミパン」が今年4月、勝山市鹿谷町志田の住宅街に実店舗をオープン。オーナーの石田未佳さん(36)はもともと料理が大好きで、前職でパンを焼く機会に恵まれて以来パンを焼くことに大はり。家族や友人、ファンの後押しもあり「人生一度きり」と人生も子どももも



大人も子どもも 楽しいブックカフェ



(4)は飲み物を注文するご利用。飲み物はコヒーや紅茶(ともに500円)のほか、ミルクやジュース(ともに300円)など子ども向けのものもあり、すべてにおやつが付く

越前市の中心部、総社通りにある「えほんのとも」。絵本と一般書を取り扱うブックカフェだ。長年、図書館司書として勤めた店長の三田村悦子さん(68)と元小学校教諭でオーナーの上坂朋子さん(63)が「昔から読み、歌い継がれてきた絵本やわらべうたの良さを、子どもにも大人にも今一度知ってほしい」との思いで、今年3月にオープンした。絵本のセレクトの基準は長く読み継がれてきたもの。絵本は表紙が見えるように陳列されており、店に一步足を踏み入れると「あ、あの本子どもの頃好きだった」「子どもにも何度も読んであげた本!」と一瞬で絵本の世界に入り込むことができる。

いわゆる「うなぎの寝床」といわれる武生の伝統的な町屋をリノベーションした店内は驚くほど広々。絵本や一般書が並ぶエリア(写真①)、お客様同士が集まるカフェスペース(写真②)、子どもが自由に本を手に取れるエリア(写真③)、カウンター席で飲み物を飲みながら静かに一人で本を楽しめるエリア(写真④)があり、思い思いのスタイルで本の世界に浸ることができる。さらに、奥の広々とした2室の和室はレンタルスペースになっており(利用料1時間1,000円)、飲食物の持ち込みも可能。勉強会や趣味の集まり、弁当などを持ち込んでのランチ会などに利用されている。

左から 大豆ミートを使ったミートソースが載る「ソイミートチーズ」(330円) ベーコンと玉ねぎがボリュームたっぷりの「目玉焼きパン」(320円) チーズが上にも中にも!「2種のチーズパン」(280円) いずれもマルミパン人気のパン

えほんのとも

①越前市京町1-11 ②0778-67-1046
③午前10時~午後7時30分
④午前10時~午後5時
⑤あり
※営業日はインスタグラムで確認を



ご紹介いただいたあなたへ

JCBギフト券
3,000円分

新しくご購読
いただいた方へ
“選べる”素敵な
プレゼント

※写真はプレゼントの一例です。
予告なく変更になる場合があります。6ヶ月以上の
ご契約でお友だちやお知り合いを
ご紹介してください!

新規読者紹介キャンペーン開催中♪

●お申込み・お問い合わせ先
0120-888-291 (受付時間 9:30~18:00)
FAX.0776-28-8602 (24時間受付)
※おへやマークに「紹介キャンペーん」の件とお伝え下さい。
※土曜日は営業日の要件手続きとなります。お問い合わせ先
中日新聞・日刊県民福井のかわら版さんぽみち
公式キャラクター こみちお問い合わせ先
中日新聞・日刊県民福井のかわら版さんぽみち
公式キャラクター